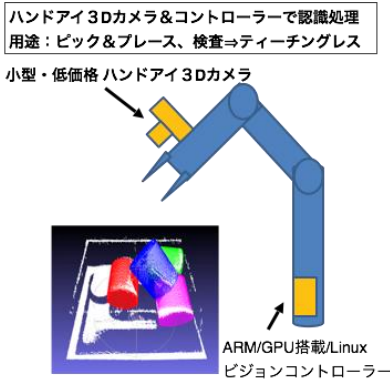


○令和4年度文部科学大臣表彰「科学技術賞」受賞（業績概要）

業績名	3Dロボットビジョンシステムの開発
受賞者	株式会社YOODS（山口市） 代表取締役社長 原田 寛（58歳）
<p>＜業績概要＞</p> <p>3Dロボットビジョンシステムは、これまで原理的には出来上がっていたものの、実用化されているものはほとんどなかった。その背景には、ロボットビジョンは手離れが悪く、熟練したシステムインテグレートが不可欠で、トラブルやチョコ停の原因になっていたことがある。また、高額な導入費用は、中小企業での導入が進まない要因でもあった。</p> <p>本開発は、高精度かつ、小型軽量で、小型のロボットアームにも搭載可能な3Dビジョンセンサーを備えた新しいロボットビジョンプラットフォーム「ビジュアルティーチ」の開発であり、3Dビジョンセンサーから得られる視覚情報と、従来のロボット教示を結びつけることを実現した。</p> <p>本開発により、ロボットの動作パスまでコンピュータが生成してしまい、人が手直しに窮することがなくなり、加えて、ロボットが視覚機能を持つことで周辺設備の位置決め装置が簡略化でき、導入コスト・教示工数の大幅な削減を可能にした。</p> <p>本成果は、従来、ロボットを導入していた現場で、チョコ停等のトラブルを低減できない状況下において飛躍的にトラブルを低減させ、さらに、3Dロボットビジョンの導入によってロボットシステムの導入コストを従来の半分程度に低減することに寄与している。</p>	
	

＜参考＞科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞の概要

1 趣 旨

我が国の社会・経済、国民生活の発展向上等における最近の科学技術上の成果を顕彰するとともに、その成果に対する功績が顕著な者を表彰する。

※ ①開発部門、②研究部門、③科学技術振興部門、④技術部門、⑤理解増進部門の5部門がある。

2 科学技術賞（技術部門）の対象

中小企業、地場産業等において、地域経済の発展に寄与する優れた技術を開発した者（全国の令和4年度受賞件数 10件（応募件数18件））

（参考）直近の科学技術賞（技術部門）受賞者（山口県関係分 過去3回）

年度	受賞者	業績名	所属
R3	吉田 治重	鯨油の利活用技術の開発	（株）吉田総合テクノ
R2	北村 道夫	液晶表示器の設計開発を支援する数値計算技術の開発	シンテック（株）
H26	佐伯 誠 ほか3名	高い活性酸素吸収能を有する野菜パウダー製造技術の開発	三笠産業（株）ほか